給付型奨学金(大学等)の選考基準の見直しについて

1 令和5年度の選考基準

	項目	配点	説明	採点目安
第1 基準	成績要件	30点	5段階評定の平均値により配点 支給要件4.3以上	評定平均5.0:30点, ~評定平均4.3:25.8点
	家庭状況	20点	世帯状況に応じて配点	ひとり親:5点, 18歳未満扶養人数:3点 / 人
第2 基準	道市民税 所得割額	60点	<u>支給要件257,500円未満</u> までを 40区分として配点	最大60点~最小1.5点
	性行	60点	委員による書類審査	

2 選考委員会より

【令和5年度第4回奨学生等選考委員会資料より(抜粋)】

- ~問題提起事項~
- ① 申請要件の見直しは必要か(成績要件4.3以上等)。
- ② 選考要件及び配点割合等の見直しは必要か。
- ③ 多子世帯に対する選考要件及び配点割合等を見直す必要があるか。



選考基準及び配点割合については、今回の結果を踏まえ事務局でいくつかの **パターンを作成**してもらってから、基準や配点について検討する。

(次回選考委員会で給付型奨学金の選考基準の検討を行う)

3 見直しの方向性

①申請要件について

- 基準を緩和すると成績優秀者への支援が手薄に
- 基準を厳しくすると申請できなくなる学生が増えることへ の反響が大きくなる

よって,成績要件は現状維持が望ましいと考える。

②選考要件及び配点割合等の見直しについて

• **家庭状況の影響が大きい**結果となった。

この影響を緩和するパターンをいくつか示し、委員会の意見を踏まえて決定していきたい。

③国の制度拡充への対応について

国の多子世帯に対する授業料等減免の支援額が大き いことから、同様の世帯への支援が重層的になるこ とによる不公平感が懸念される。

• 特に、大学生等を複数扶養する家庭であって、国の 制度の対象とならない場合の負担も相当なものがあ

本市が目指す給付型奨学金制度は、このような環境の 学生や、その他に支援が得られていない家庭に対して も**広く支援が行き届くような配慮**も必要と考える。



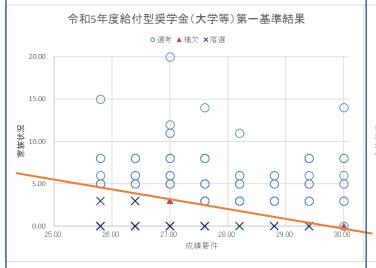
【選考基準の見直し案について】

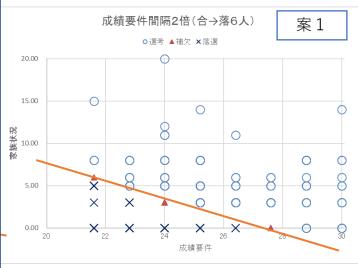
国の制度との整合を図るため、本人含めて、大 学生等で同一生計維持者に扶養されている者全 てを計上し、加点対象(ひとり3点)

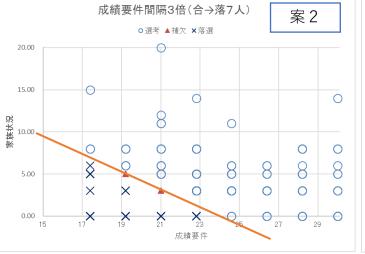
【扶養人数の調整】

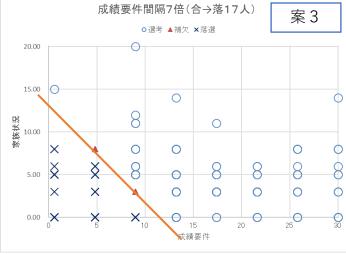
国等の制度の対象とならない家庭にも支援が行 き届くために

- 翌年度に国の多子世帯授業料等免除の対象と なる者~1人分減
- (申請時点で高校3年生から大学卒業1年前の学生が対象)
- 旭川市給付型奨学金(大学等)を受給中の者 ~ 1 人分減









扶養家族構成	R5基準	見直し案	説明
本人	① 本人	① <u>本人</u>	本人が加点対象
本人,高1	① 本人, <u>高1</u>	② <u>本人</u> , <u>高1</u>	本人が加点対象
本人,大2	① 本人,大 2	② <u>本人</u> , <u>大2</u>	本人と兄姉も加点対象
本人, 高1, 中1	②本人, 高1 , <u>中1</u>	②本人, 高1 , 中1	本人は国の多子免除対象 のため対象外
本人,大2,高1	①本人,大2, 高1	①本人,大2, 高1	本人と兄姉は国の多子免 除対象のため対象外

○内の数は、採点対象(**太字下線**)の扶養人数